

リトルトン

No.146 2025^{ねん}12^{がつ}月



トピックス

来年^{らいねん}2026^{ねん}年の干支^{えと}は午^{うま}（馬）です。人^{ひと}を乗^のせたり、荷物^{にもつ}を運^{はこ}んだり、昔^{むかし}から馬^{うま}は私^{わたし}たちの生活^{せいかつ}を支^{ささ}えてきました。また、足^{あし}の速^{はや}さをいかして活^{かつ}躍^{やく}もします。そんな親^{した}しみやすく、かっこいい馬^{うま}がで^でてくる本^{ほん}を紹^{しょう}介^{かい}します。

さがみはらしりつとしょかん はっこう
相模原市立図書館 発行

でんわ
電話 042-754-3604



ものがたり J933/カ

『 帰ろう、シャドラック! 』



ジョイ・カウリー／作
おおさく みちこ やく
大作 道子／訳
ひろの たかこ が ぶんかんしゅてん
広野 多珂子／画 文研出版

ハンナの馬のシャドラックがケガをし、
家で飼うことができなくなりました。

ハンナたち兄弟は、ドッグフード工場に
売られていくシャドラックを取り戻そうとします。

年老いた馬を大切にする、ハンナたちの想いが伝わります！

えほん E/ス



『 わらってよピッコ 』

ルイス・スロボドキン／作
こみや ゆう／訳 ぶんかんしゅてん
福音館書店

子どもたちをカートにのせて、公園の中を
まわっているポニーのピッコは、いつもどこか悲しそうです。
そこで、アルフレッドとジーナの兄弟は、ピッコを笑顔に
してあげたいと、おやつをあげたり、絵本を読んだりする
のですが……。

ピッコのために兄弟が考えた作戦とは!?

ちしき J62

『 そだててあそぼう 85 ウマの絵本 』



こんどう せいじ へん
近藤 誠司／編
もり まさゆき え
森 雅之／絵 のうさんぎょぞんぶん かきょうかい
農山漁村文化協会

ウマは乗り物としてだけでなく、働き手
や大切な相棒として人と暮らしてきました。

では、ウマはいつ日本に来たのでしょうか。

さまざまな種類やその歴史、飼い方、乗り方など、ウマについて
詳しくなれます。

えほん E/パ

『 名馬キャリコ 』



バージニア・リー・バートン／絵・文
せた ていじ／訳 いわなみしよてん
岩波書店

キャリコは頭がよく足の速い馬で、
カウボーイのハンクの相棒です。ある日、
すごみやスチンカーとその一味が、牛の

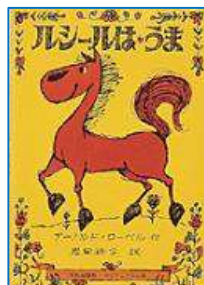
むれをぬすみました。キャリコは足の速さと、よくきく鼻を
いかして、スチンカーのかくれ家を見つけます。

キャリコの大活躍を、ユーモアのある絵と文でいきいきと
描きます。

ほか 他にこんな本もおすすめ！

えほん E/口

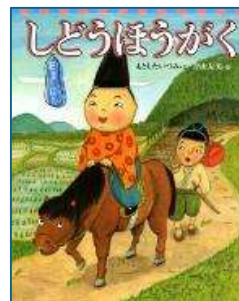
『 ルシールはうま 』



アーノルド・ローベル／作
きしだ えりこ やく
岸田 衿子／訳 ぶんかんしゅてん
文化出版局

えほん E/あ

『 しどうほうかく (狂言えほん) 』

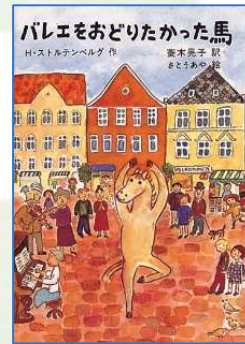


もとした いづみ／文
あおやま ともみ え
青山 友美／絵 こうだんしゅ
講談社

※本をさがすときは、
のところを目じるしにしよう

ものがたり J949/ス

『 バレエをおどりたかった馬 』



ハーラル H・ストルテンベルグ／作
ひしき あきこ やく
菱木 晃子／訳 さとう あや が ぶんかんしゅてん
福音館書店

馬は、いなかで初めて見たバレエを
大好きになります。そして、どうしても
バレエを踊りたくなり仲間と離れて

ひとりで町へ旅立ちます。

バレエダンサーになりたい馬の、ゆかいでほっこりする
お話です。

えほん E/チャ

『 うまかたやまんば 』



おざわ としお／再話
あかば すえきち が ぶんかんしゅてん
赤羽 末吉／画 福音館書店

むかし、一人のうまかたが荷物を
運んでいると、山の中でやまんばに会いました。うまかたは
一生懸命逃げ、ようやく一軒家が見つかったので中に
隠れました。ところがそれはやまんばの家だったのです。

ちしき J64

『 カウボーイ事典 (「知」のビジュアル百科 40) 』



デヴィッド・H・マードック／著
たかに よしゆき にほんごばんかんしゅ
高荷 義之／日本語版監修
あすなろ書房

あ

た

ら

し

い

ほ

ん

あた^らは^い新^ししく入^いった本^{ほん}の中^{なか}から、お^しすすめの本^{ほん}を紹^{しょう}介^{かい}します。

ポーリーン王女が、グラスの^{まち}で
ゆっくり^{せいよう}静養することになりました。これを
聞いた^きグラスの^{ひと}人たちは、さあ^{たいへん}大変！
王女^{さま}様の^{ざつおん}ために雑音^{しず}ひとつしもない静かな^{しず}町に
しなければなら^ないからです。

わがま^{こま}な王女様に困^{たす}った町の人を助けた
のは……。

ものがたり J933/ス

『 コレットとわがまま王女 』



ルイス・スロボドキン^{さく}／作
こみや ゆう やく 小宮 由^{すい}／訳 瑞雲^{しん}舎

えほん E/アオ

『 がんばれ! はこねとざんでんしゃ 』



もちだ あきとし^{しゃしん}／写真
せきや ゆうこ^{ぶん}／文
こみねしよてん
小峰書店

はこねとざんでんしゃ^{にほん}箱根登山電車は、日本^{ばんめ}で1番目、世界^{せかい}で2番目に
きゆう^{さか}急^{のぼ}な坂を登る電車です。そこにはいろいろな工夫^{くふう}
があります。そんな電車^{みりよく}の魅力^{はこね}を、箱根湯本^{もと}から
ごう^ら強羅^{たけ}までの旅^{たび}の写^{しゃしん}真^{しん}とともに、わ^えかりやす^くく描^{えが}き
ます。箱根登山電車^{しゅっぱつ}の旅へ、出^{しゅ}発^{はつ}しんこう！

ちしき J486

『 モンシロチョウ、 「ねむる さなぎ」のひみつ 』



はしもと けんいち ちょ 橋本 健一^著／著
ちようぶんしゃ 汐 文社

ちしき J38

『 移動する民^{いどう} ノマドのくらし^{たみ} 』



キンチョイ・ラム^{さく}／作
やぎはし のぶひろ にほんごばんかんしゅう 八木 伸浩^監／日本語版監^修
くまがい じゅんこ^{やく}／訳
たまがわだいがくしゅっぱんぶ 玉川大学出版部